

---

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

---

# 東京都感染症週報

2010年第42週  
(10月18日～10月24日)

- \* 2010年10月27日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は感染症豆知識「インフルエンザ2010年9月現在」も  
掲載しています。

平成22(2010)年10月28日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)  
FAX：03-5332-7365  
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

---

# 全数把握対象疾患 報告数 2010年42週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							2
	結核	71	53	37	69	3,234	325	20,466
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					2		10
	細菌性赤痢	4	10	2	4	76	12	198
	腸管出血性大腸菌感染症	7	8	7	5	318	62	3,758
	腸チフス		1			8		25
	パラチフス					5		19
四類	E型肝炎					7		50
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				41		315
	エキノкокクス症				1	1		9
	黄熱							
	オウム病							9
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					5	3	123
	デング熱	6	2	2	1	58	3	209
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニバウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	95
	日本脳炎						1	3
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア				1	24	1	60
野兎病								
ライム病					1		11	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		3	
レジオネラ症	2	3	3	3	39	12	593	
レプトスピラ症					2	2	18	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		39週	40週	41週	42週	年累計	42週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	4	2	1	9	146	13	682
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	1	1		9	41	3	167
	急性脳炎 *2	1	1			14	1	187
	クリプトスポリジウム症					3		16
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1			11	5	137
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		2		17		97
	後天性免疫不全症候群	21	15	18	11	410	19	1,216
	ジアルジア症				1	12	2	67
	髄膜炎菌性髄膜炎							7
	先天性風しん症候群							
	梅毒	7	4	5	7	144	6	498
	破傷風			2		5	1	84
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					12	1	91
	風しん					11	1	74
麻しん	3	2		2	68	5	408	
新型※	新型インフルエンザ *3	—	—	—	—	—	—	—
2010/10/27集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※ 新型インフルエンザ等感染症

\*3 2009年4月28日に指定された。現時点では届出不要。

### (全数把握対象疾患のコメント)

#### 〈二類感染症〉

**結核 69件** 肺結核38件、その他の結核31件で、推定感染地は国内67件、国外(南アフリカ)1件、国内及び国外(ネパール)1件、年齢は5歳未満2件、10歳代1件、20歳代7件、30歳代16件、40歳代10件、50歳代8件、60歳代7件、70歳代12件、80歳代5件、90歳以上1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 4件** 菌種はフレキシネル1件、ソネネ3件。推定感染地は国内2件、カンボジア1件、マダガスカル1件で、推定感染経路は全て飲食物による経口感染であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 5件** 患者3件、無症状病原体保有者2件。血清型・毒素型はO157(VT2)1件、O157(VT1VT2)2件、O26(VT1)2件で、年齢は10歳代1件、20歳代1件、50歳代3件であった。

#### 〈四類感染症〉

**エキノコックス症 1件** 多包条虫。推定感染地はカナダで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

**デング熱 1件** 血清型は2型。推定感染地はバングラデシュである。

**マラリア 1件** 熱帯熱マラリア。推定感染地はセネガルである。

**レジオネラ症 3件** 全て肺炎型で、年齢は50歳代1件、60歳代1件、70歳代1件。推定感染地は全て国内(埼玉県1件、静岡県1件、不明1件)で、推定感染経路は水系(温泉)感染2件、その他(不明)1件である。

#### 〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 9件** 全て腸管アメーバ症。推定感染地は国内8件、韓国1件で、推定感染経路は性的接触5件(同性間1件、異性間1件、不明3件)、その他(不明)4件であった。

**ウイルス性肝炎 9件** B型8件、C型1件。推定感染地は全て国内で、推定感染経路は性的接触4件(異性間3件、不明1件)、その他(不明)5件であった。

**後天性免疫不全症候群 11件** 無症候キャリア8件、AIDS3件。無症候キャリアの年齢は20歳代4件、30歳代3件、40歳代1件、AIDS患者の年齢は20歳代1件、30歳代1件、60歳代1件である。推定感染地は国内9件、ブラジル1件、不明1件、推定感染経路は性的接触8件(同性間6件、異性間2件)、性的接触及び静注薬物1件、不明2件であった。

**ジアルジア症 1件** 推定感染地は国内で、推定感染経路は性的接触(異性間)であった。

**梅毒 7件** 早期顕症梅毒Ⅱ期5件、晩期顕症梅毒1件、無症候1件。推定感染地は全て国内、推定感染経路は性的接触5件(異性間3件、不明2件)、その他(不明)2件であった。

**麻しん 2件** 麻しん(臨床診断例)1件、修飾麻しん(検査診断例)1件。どちらも年齢は5歳未満、麻しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

## 定点把握対象疾患 報告数 2010年42週

定点種別	対象疾患	2010年					報告医療機関数	定点医療機関数
		39週	40週	41週	42週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	25	42	30	27	0.18	148	150
	咽頭結膜熱	27	22	23	38	0.26		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	160	156	138	164	1.11		
	感染性胃腸炎	513	606	475	645	4.36		
	水痘	104	77	104	87	0.59		
	手足口病	90	72	64	64	0.43		
	伝染性紅斑	36	49	57	46	0.31		
	突発性発しん	96	91	82	91	0.61		
	百日咳	7	10	3	9	0.06		
	ヘルパンギーナ	20	28	13	22	0.15		
	流行性耳下腺炎	74	86	67	70	0.47		
	不明発しん症(注1)	13	10	9	9	0.06		
MCLS(川崎病)(注1)	0	1	0	4	0.03			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	27	41	27	55	0.19	284	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	3	3	1	0.03	39	39
	流行性角結膜炎	17	16	17	16	0.41		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	1	1	0	0.00	23	25
	無菌性髄膜炎	1	0	0	2	0.09		
	マイコプラズマ肺炎	5	20	6	8	0.35		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	1	0.04		
2010/10/27集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

### (定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は微減した。
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・伝染性紅斑の定点当たり報告数は微減した。しかし過去5年平均と比較して高い値で推移している。

### (定点医療機関からのコメント)

江東区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名

池袋保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名、成人

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型1名、他家族内感染あり

多摩小平保健所管内定点医療機関

- ・インフルエンザ:A型12名

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年42週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	3			9	2	2		7		
～11か月	12			55	7	4		30		1
1歳	9	13	7	106	12	21		49		5
2歳		1	11	61	17	14	7	4	1	4
3歳	2	7	7	59	16	7	5	1	1	1
4歳	1	3	14	58	10	4	7			2
5歳		4	33	52	7	5	5			3
6歳		3	18	36	9	3	2			2
7歳		2	26	24	4	2	9			
8歳		2	16	23	3		3			
9歳		2	11	23		1	2		1	
10～14歳			13	55			6		2	2
15～19歳			1	19						
20～29歳		1	7	65		1			4	2
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	27	38	164	645	87	64	46	91	9	22
先週比	-3	15	26	170	-17		-11	9	6	9

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月						
～11か月		1		1		
1歳	2	3	1	5		1
2歳	7			4		1
3歳	11	1		5		
4歳	15	3	1	9		
5歳	14			2		
6歳	7	1		7		
7歳	6			3		1
8歳	4			3		
9歳			1	4		
10～14歳	4		1	5		1
15～19歳					1	
20～29歳				5		3
30～39歳				2		2
40～49歳						4
50～59歳						3
60～69歳						
70～79歳						
80歳以上						
合計	70	9	4	55	1	16
先週比	3		4	28	-2	-1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

### 全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年42週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		1
2歳		1
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	2

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年42週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田	2			1	3	1				
中央区		1		3	1	1	1	4		
みなと	3	3	5	24	5	2	1	2	1	2
新宿区	1	2	3	18	6	4	4	1	1	1
文京			2	1		5		2		
台東				12	2	5	1	1		
墨田区			2	5				5		
江東区	1		5	65	1	1		4		
品川区	2	1	5	40		4	1	2		1
目黒区			1	7		1	1	2		
大田区	3	13	8	61	5	3	1	9		2
世田谷		1	6	24	2	5		1		
渋谷区		1	3	12		3	1	1		
中野区			8	37	3	4	1	1		
杉並			4	34	3	1		1		
池袋			4	8		6		2		
北区			2	18	2		1	1	1	
荒川区		4	1	8	1		4	1		
板橋区			2	10		2	3	1	2	
練馬区	5	2	2	26	2		5	2	1	2
足立			14	10	5	2	2	3		
葛飾区				6	3	1	7	3		
江戸川	4	3	13	40	3	1	2	5	2	2
八王子市	5	1	32	15	4	1		7		
西多摩			4	18	4	1		3		1
南多摩			8	11	1		1	3		3
町田	1	1	14	67	6	6	2	2		7
多摩立川			1	8	2	1	1	2		1
多摩府中			3	25	9	2		10		
多摩小平		5	11	31	13	1	6	10	1	
島しょ			1		1					

東京都合計	27	38	164	645	87	64	46	91	9	22
-------	----	----	-----	-----	----	----	----	----	---	----

全数把握対象疾患  
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2010年42週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				1		
中央区				2		
みなと	2					
新宿区	1					2
文京	1					2
台東						
墨田区	1			6		
江東区	6			1		1
品川区	3	2		1		
目黒区						
大田区	6	1		2		3
世田谷	3			3		
渋谷区						
中野区	2					
杉並			1			
池袋	5			1		
北区	1					
荒川区						2
板橋区	1			1		
練馬区	3	1				
足立	1				1	2
葛飾区	1		1			
江戸川						
八王子市	7	1	2	2		1
西多摩	3	1				1
南多摩	2					
町田	8	2		2		
多摩立川	1			1		
多摩府中	2	1		1		
多摩小平	7			31		2
島しょ	3					

東京都合計	70	9	4	55	1	16
-------	----	---	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		1
江戸川		
八王子市		1
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	0	2
-------	---	---

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年42週

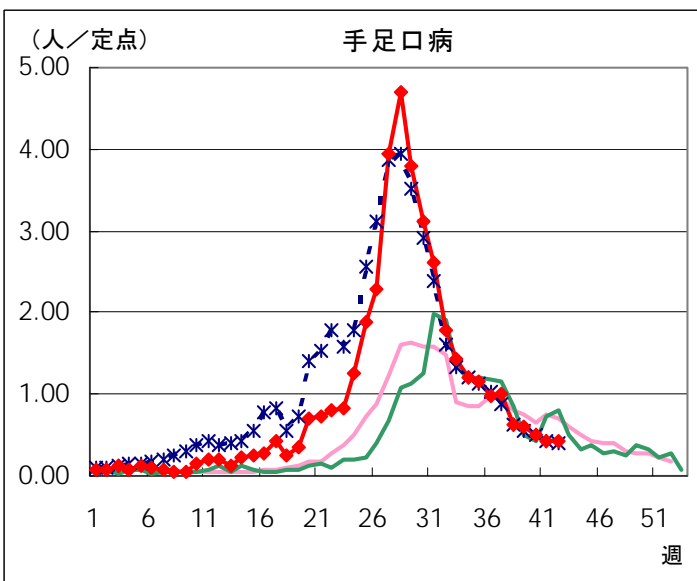
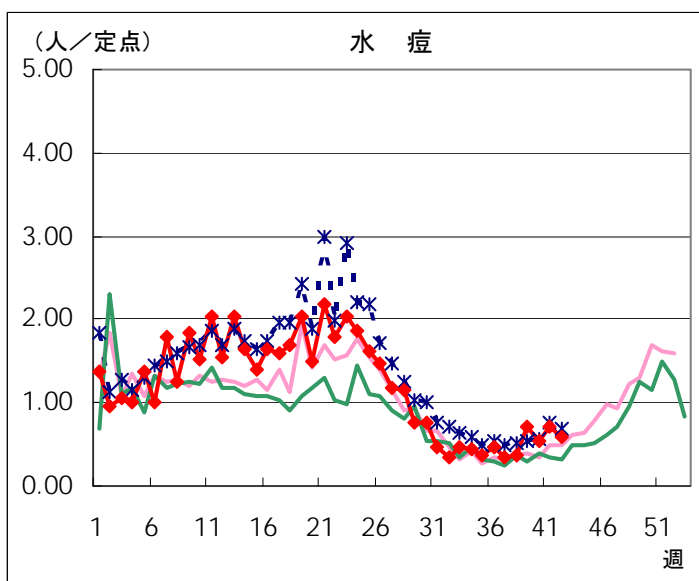
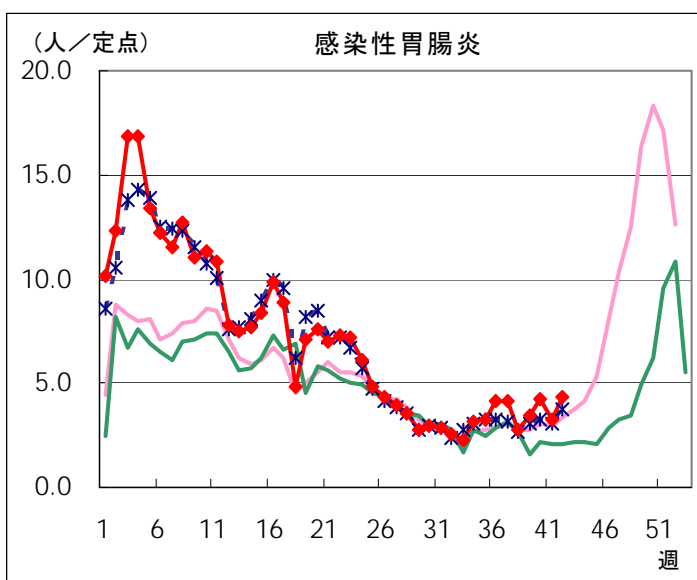
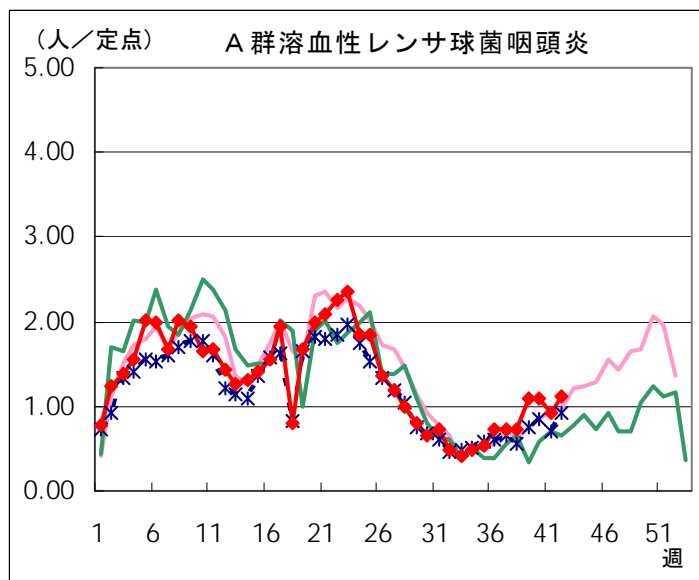
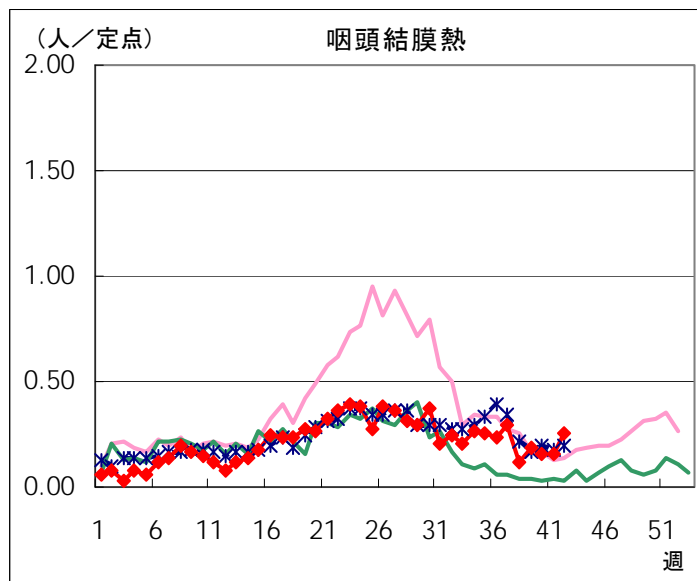
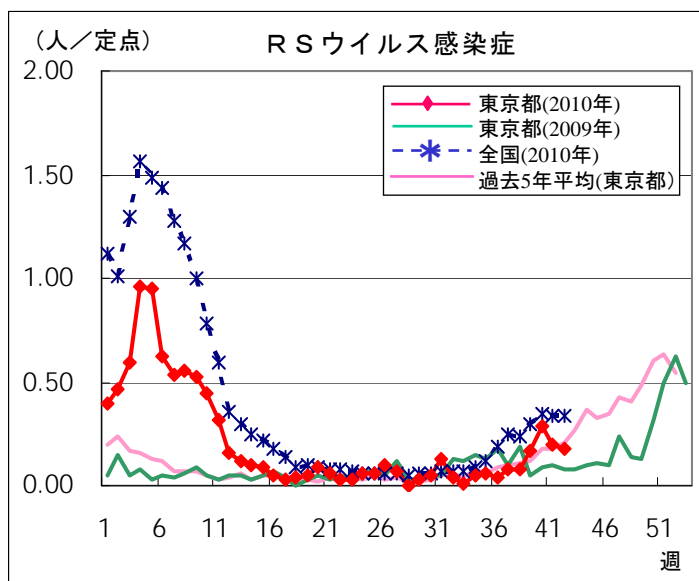
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田	0.67			0.33	1.00	0.33				
中央区		0.33		1.00	0.33	0.33	0.33	1.33		
みなと	0.50	0.50	0.83	4.00	0.83	0.33	0.17	0.33	0.17	0.33
新宿区	0.17	0.33	0.50	3.00	1.00	0.67	0.67	0.17	0.17	0.17
文京			0.67	0.33		1.67		0.67		
台東				4.00	0.67	1.67	0.33	0.33		
墨田区			0.67	1.67				1.67		
江東区	0.25		1.25	16.25	0.25	0.25		1.00		
品川区	0.33	0.17	0.83	6.67		0.67	0.17	0.33		0.17
目黒区			0.33	2.33		0.33	0.33	0.67		
大田区	0.33	1.44	0.89	6.78	0.56	0.33	0.11	1.00		0.22
世田谷		0.13	0.75	3.00	0.25	0.63		0.13		
渋谷区		0.25	0.75	3.00		0.75	0.25	0.25		
中野区			1.33	6.17	0.50	0.67	0.17	0.17		
杉並			0.67	5.67	0.50	0.17		0.17		
池袋			0.80	1.60		1.20		0.40		
北区			0.50	4.50	0.50		0.25	0.25	0.25	
荒川区		2.00	0.50	4.00	0.50		2.00	0.50		
板橋区			0.33	1.67		0.33	0.50	0.17	0.33	
練馬区	0.83	0.33	0.33	4.33	0.33		0.83	0.33	0.17	0.33
足立			2.80	2.00	1.00	0.40	0.40	0.60		
葛飾区				1.50	0.75	0.25	1.75	0.75		
江戸川	0.80	0.60	2.60	8.00	0.60	0.20	0.40	1.00	0.40	0.40
八王子市	1.25	0.25	8.00	3.75	1.00	0.25		1.75		
西多摩			0.80	3.60	0.80	0.20		0.60		0.20
南多摩			2.00	2.75	0.25		0.25	0.75		0.75
町田	0.25	0.25	3.50	16.75	1.50	1.50	0.50	0.50		1.75
多摩立川			0.17	1.33	0.33	0.17	0.17	0.33		0.17
多摩府中			0.38	3.13	1.13	0.25		1.25		
多摩小平		0.83	1.83	5.17	2.17	0.17	1.00	1.67	0.17	
島しょ			1.00		1.00					
東京都	0.18	0.26	1.11	4.36	0.59	0.43	0.31	0.61	0.06	0.15

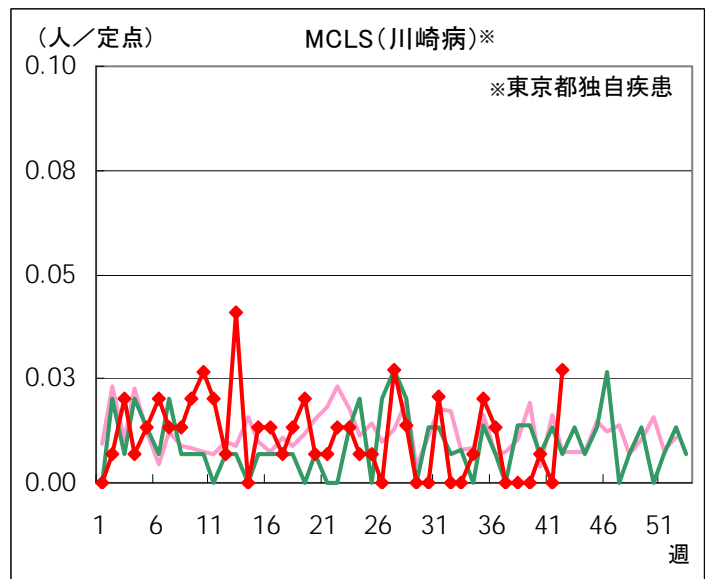
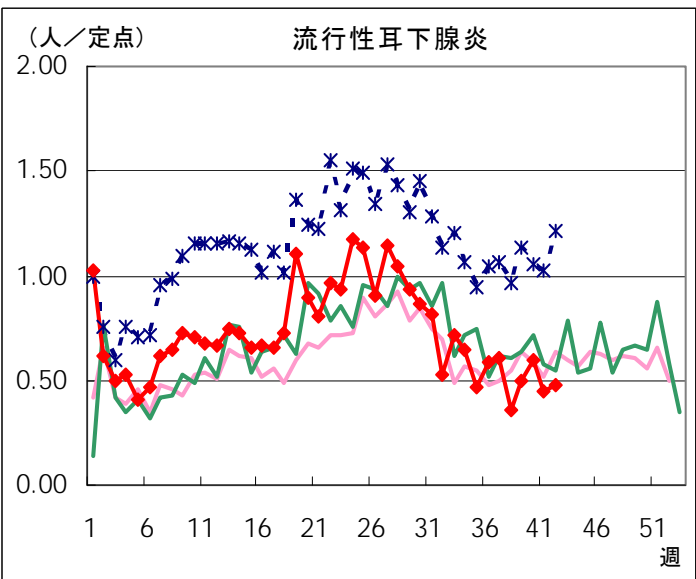
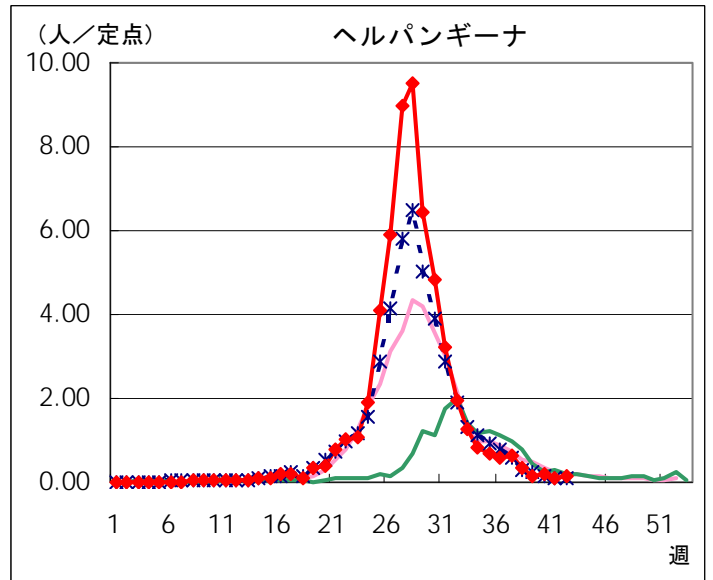
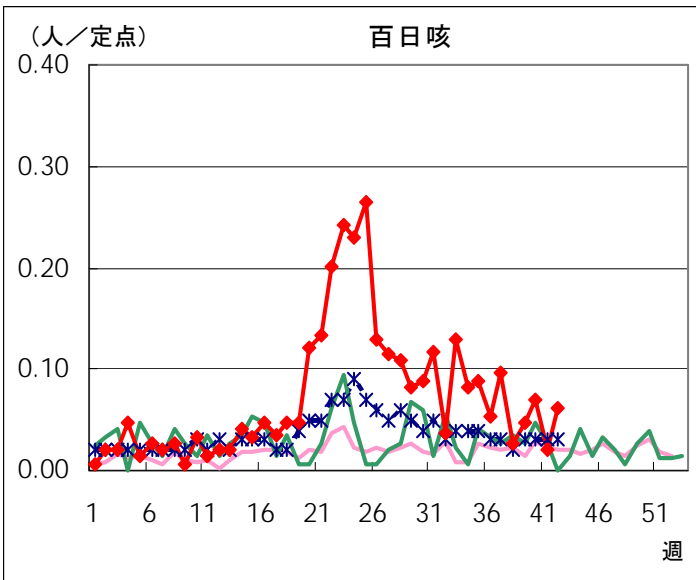
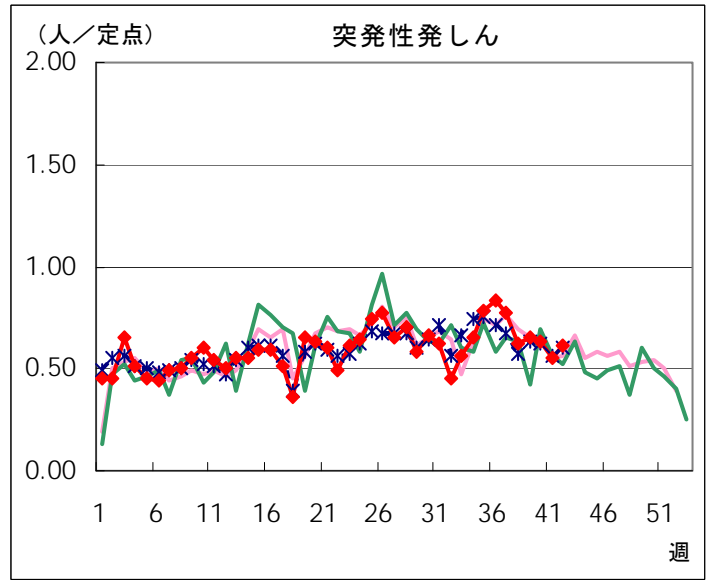
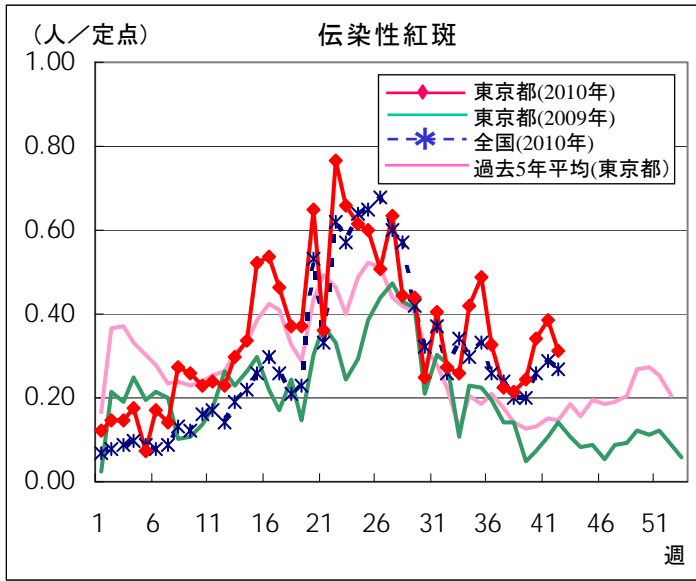


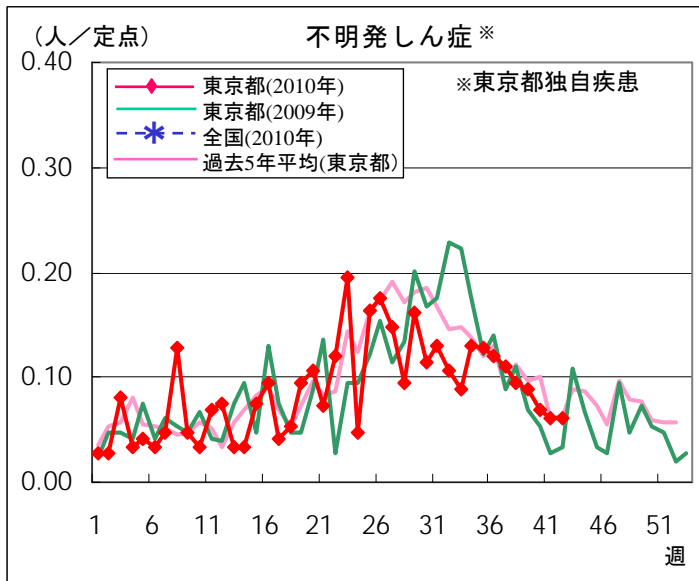
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.25		
中央区				0.50		
みなと	0.33					
新宿区	0.17					1.00
文京	0.33					2.00
台東						
墨田区	0.33			1.00		
江東区	1.50			0.11		1.00
品川区	0.50	0.33		0.10		
目黒区						
大田区	0.67	0.11		0.13		1.50
世田谷	0.38			0.19		
渋谷区						
中野区	0.33					
杉並			0.17			
池袋	1.00			0.13		
北区	0.25					
荒川区						2.00
板橋区	0.17			0.08		
練馬区	0.50	0.17				
足立	0.20				0.50	1.00
葛飾区	0.25		0.25			
江戸川						
八王子市	1.75	0.25	0.50	0.20		0.50
西多摩	0.60	0.20				1.00
南多摩	0.50					
町田	2.00	0.50		0.22		
多摩立川	0.17			0.08		
多摩府中	0.25	0.13		0.06		
多摩小平	1.17			2.21		1.00
島しょ	3.00					
東京都	0.47	0.06	0.03	0.19	0.03	0.41

# 定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年42週現在

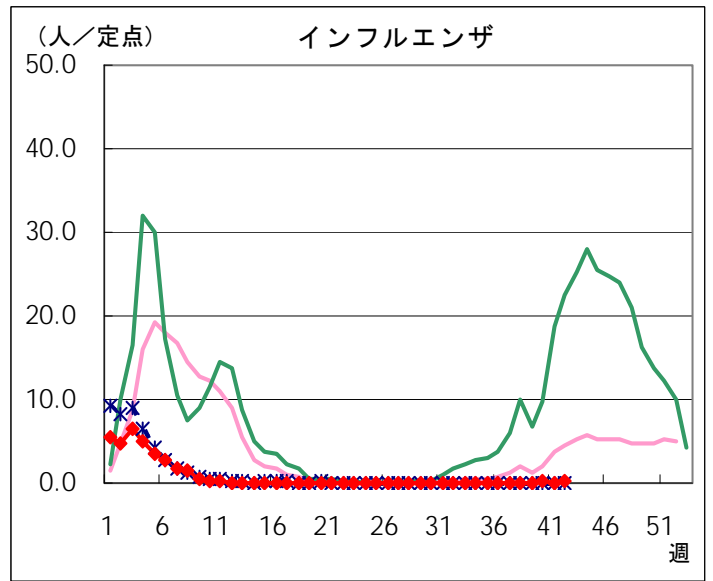
## ◆ 小児科定点



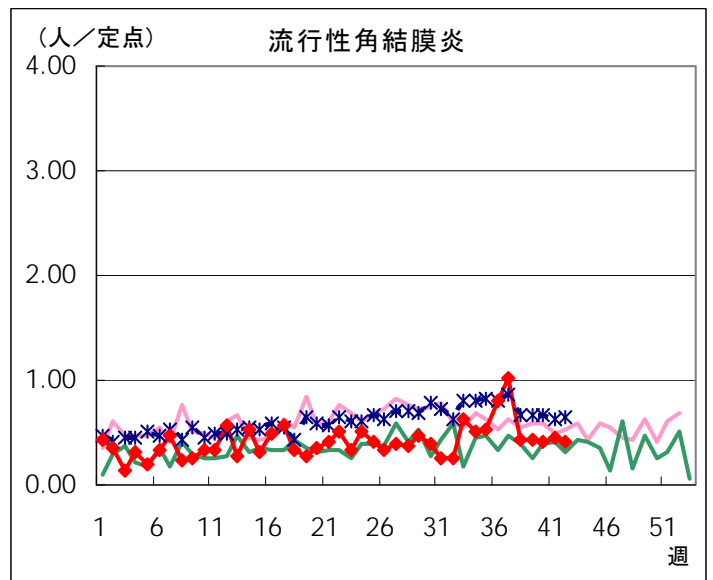
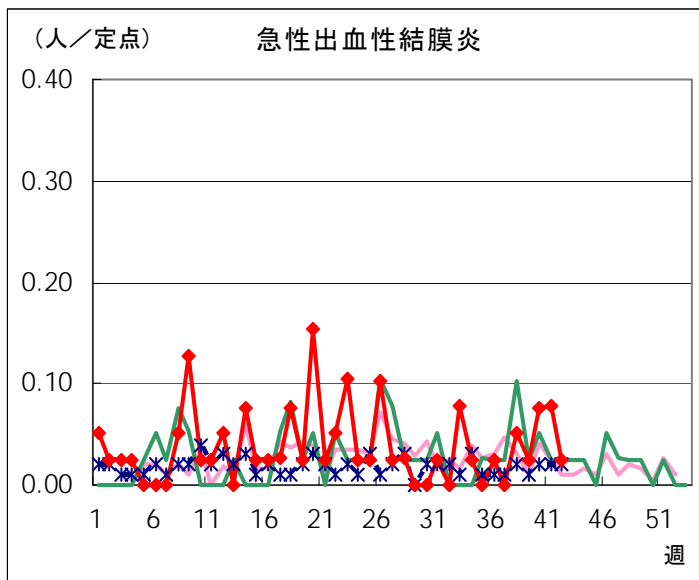




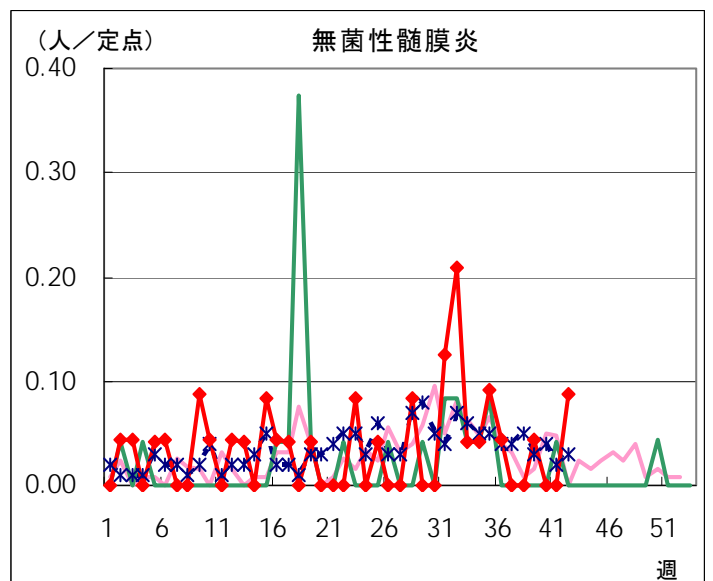
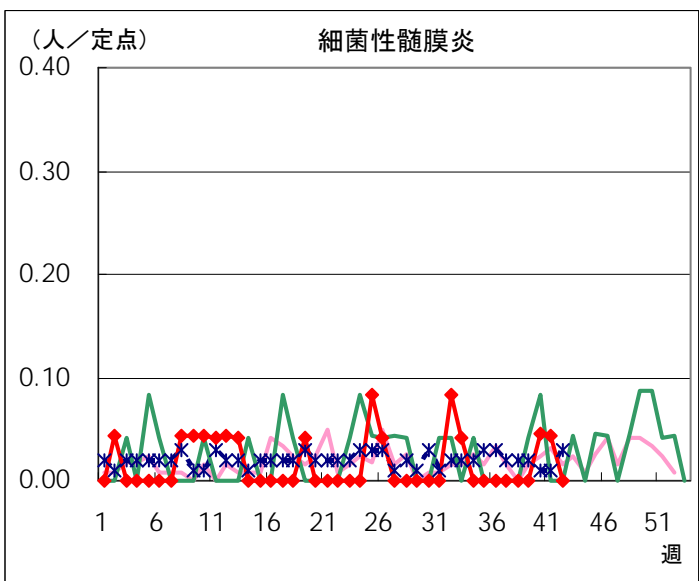
◆ インフルエンザ定点

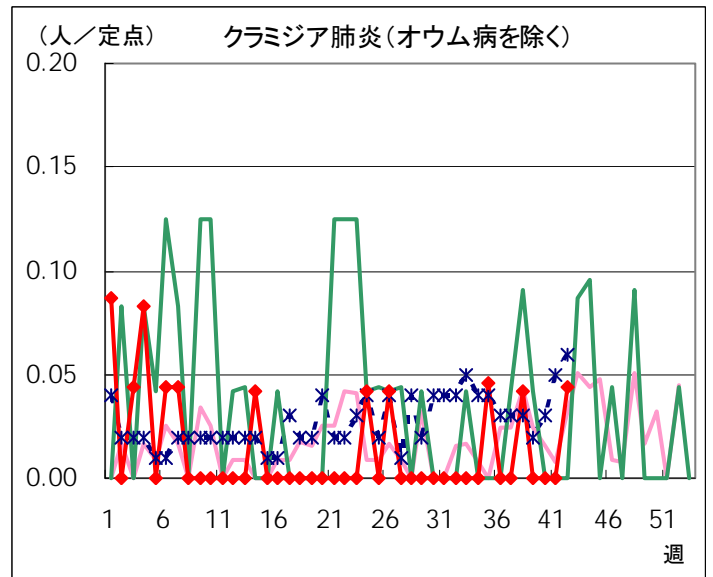
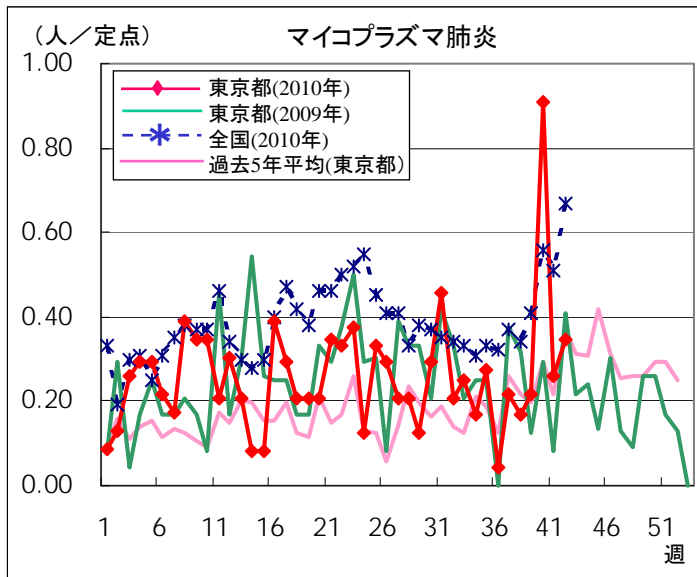


◆ 眼科定点

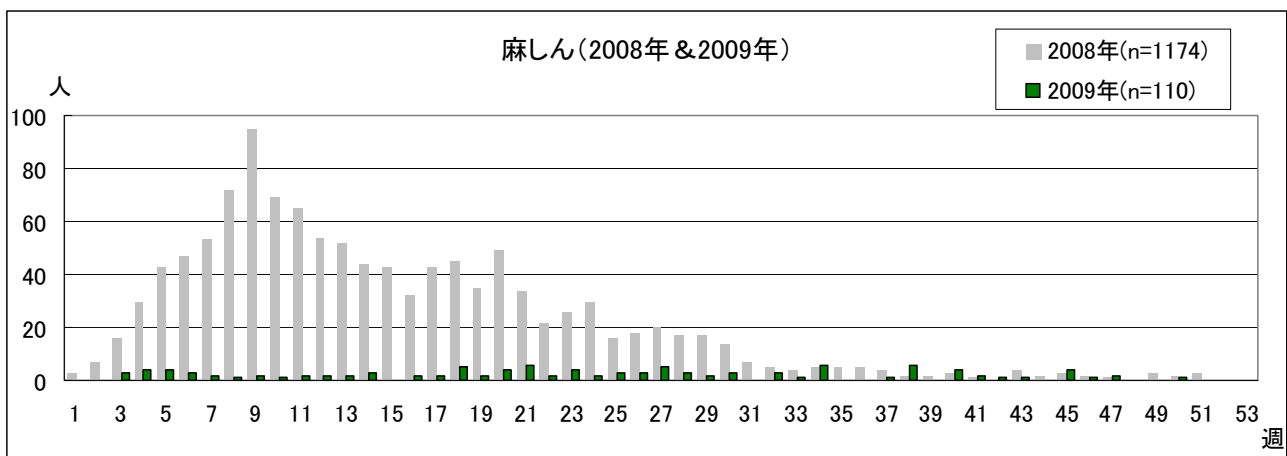
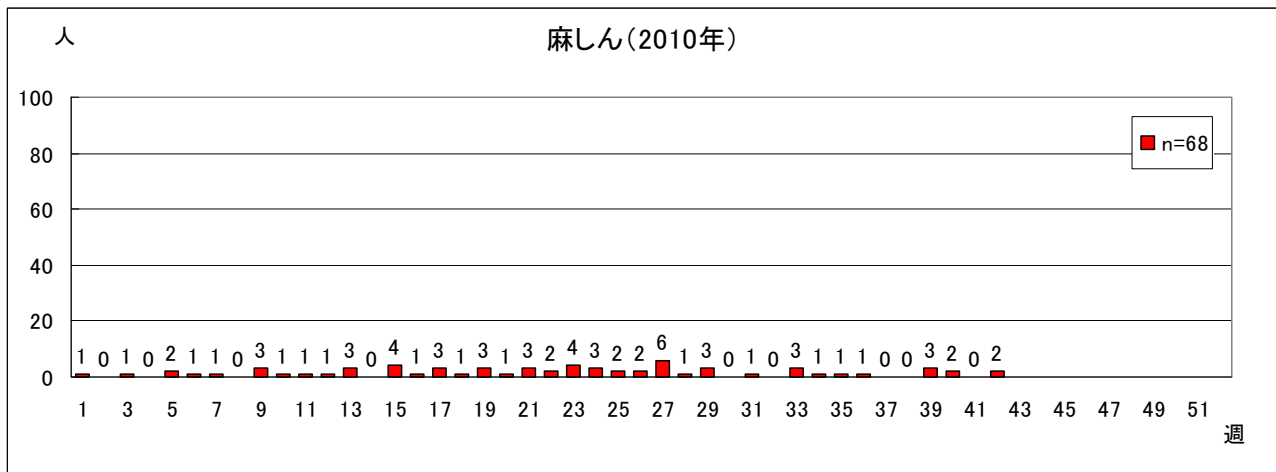


◆ 基幹定点





**全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年42週現在**



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

\*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
10/1	無菌性髄膜炎・伝染性単核症	10	血液	EBウイルス	遺伝子
10/8			咽頭拭い液		
10/6	肺炎	4	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/6	咽頭炎	11	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/7	急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
10/8	急性気管支炎	2M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/10	気管支炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/10	気管支炎	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
10/12	熱性けいれん重積	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
10/12	気管支炎	1	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
10/12	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
10/12	急性気管支炎	6M	咽頭拭い液	エンテロウイルス、RSウイルス	
10/12	不明発しん症	9M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
10/13	感染性腸炎	記載なし	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	
10/13	気管支炎	6	鼻汁	ライノウイルス	遺伝子
10/13	肝炎疑い	3	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
			糞便		
10/14	急性上気道炎	10M	咽頭拭い液	ライノウイルス	

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型*)
41週	0	0	0	1
2010-2011年 シーズン累計**	0	3	1	2

\* : 新型インフルエンザ (pandemic H1N1 2009)。

\*\* : 2010-2011シーズンの開始は第36週 (2010年9月6日~9月12日)。

## 病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		34週	35週	36週	37週	38週	39週	40週	41週
ウイルス	アデノウイルス	2	3	1		5	3	5	
	ライノウイルス	3	2			3	6	2	5
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71		1						
	その他のエンテロウイルス	11	8	6	1	13	13	8	8
	単純ヘルペスウイルス						2	1	
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7	4		1		8	3	2	1
	EBウイルス	2	2	1		2	2	2	2
	サイトメガロウイルス		1			1	2		
	ムンプスウイルス	4	1			2			
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19					3			
	RSウイルス	1	3	2		1	3		3
	ノロウイルス		1					1	1
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3			1				2	
	インフルエンザウイルスB							1	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm						1			
デングウイルス(抗体を含む)						2	2		
その他のウイルス		1							
細菌	カンピロバクター	2	1						1
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌		2						
	その他の細菌	3	3	2	2	5		2	
その他の病原体		4	1			2	3	3	

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年34週～2010年41週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	17	55	76	25	20	7		2		5	1	33	9				85	
ウイルス	アデノウイルス	1	4	5	1		3	1				1					3	
	ライノウイルス		3	12			1					3					2	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71	1																
	その他のエンテロウイルス	2	20	18	3	3	3			3		8	1				7	
	単純ヘルペスウイルス		3															
	水痘・帯状疱疹ウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7	1				1				2		12						3
	EBウイルス		2									2	1					8
	サイトメガロウイルス		1									2						1
	ムンプスウイルス					1								6				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19											1	2					
	RSウイルス		3	9														1
	ノロウイルス				3													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	3																	
インフルエンザウイルスB	1																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	1																	
デングウイルス(抗体を含む)																	4	
その他のウイルス			1															
細菌	カンピロバクター				3												1	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		2															
その他の細菌		1	16															
その他の病原体			12														1	



## <感染症豆知識>

### インフルエンザ 2010 年 9 月現在

2009/2010 シーズンのインフルエンザの流行は新型インフルエンザウイルス AH1pdm が 96%を占めたが、2010 年第 12 週以降は AH1pdm、季節性の AH3 亜型、B 型が毎週少数報告されている。2010 年第 12～36 週（3 月 22 日～9 月 15 日）に AH1pdm が 254 件、AH3 亜型が 130 件、B 型が 131 件（ビクトリア系統 112 件、山型系統 6 件、系統不明 13 件）報告されている。

最近の 2010 年第 32～36 週の 5 週間（8 月 9 日～9 月 15 日）では AH1pdm が 9 県から 33 件、AH3 亜型が 16 都府県から 51 件、B 型は 4 県から 6 件（ビクトリア系統株 5 件、系統不明株 1 件）報告され、AH3 型が分離・検出例全体（90 件）の 70%を占め、AH1pdm（37%）を上回っている。このうち 19 件（AH1pdm6 件、AH3 亜型 12 件、B 型ビクトリア系統株 1 件）は、東南アジア、中国、オーストラリアなどインフルエンザ流行地域への渡航者から検出されている。

また、患者発生の少ない 5～8 月に AH1pdm、B 型、AH3 型ともに学校以外での集団発生が報告されていたが、9 月に入って新学期開始早々に学校での集団発生が報告されている。

日本の 2010/2011 シーズン用インフルエンザワクチンは、AH1 亜型は新型の A/California/7/2009pdm、AH3 亜型は A/Victoria/210/2009、B 型はビクトリア系統の B/Brisbane/60/2008 の 3 株からなる 3 価ワクチンが製造され、10 月から接種開始される。なお、2009/2010 シーズンには、季節性用ワクチン 2,039 万人分（成人 1 人 2 回接種の場合）が使用され、パンデミック (H1N1) 2009 ワクチンは優先接種対象者を中心に 2010 年 6 月までに 1,800 万人が接種を受けたと推定されている。

（文責 国立感染症研究所感染症情報センター 山下和予）